

2017連合秋田中小労組交流集会を開催！



月例賃金にこだわる取り組みの継続を！

◎ 2017 連合秋田中小労組交流集会

- ・と き：2017年2月18日（土）
- ・と ころ：あいのの温泉鶴ヶ池荘（横手市山内）
- ・参加者：約50人（構成組織、地場中小労組より）

○ 主催者挨拶：連合秋田 黒崎 保樹 会長

「大手の労組が要求書を提出し、2017春季生活闘争が本格的にスタートした。連合は『底上げ・底支え』『格差是正』をスローガンとして、月例賃金にこだわった闘いを展開していく。ここ秋田では少子高齢化・人口減少が進んでおり、働き方やワークルールについても労使間で認識を合わせるとともに、広く組合員に周知・徹底していかなければならない。今年も厳しい闘いになると予想されるが、本日の学習会・交流会を通じて、連合秋田一体となった取り組み展開するための意識合わせをしていただきたい。」と挨拶した。



○ 労働局長挨拶：連合秋田 秋葉 宏 労働局長

「現在、県内の中小企業は大変厳しい状況にあり、粘り強く継続的な交渉が必要である。本集会においてそれぞれの労組の課題・認識などを共有しながら、積極的な交流を図っていただきたい。」と挨拶した。



○ 提起：「2017 春季生活闘争・地場中小労組の闘い方について」



連合本部・安永 貴夫 副事務局長

「2017 春季生活闘争・地場中小労組の闘い方について」と題し、2017 春季生活闘争の目的を、①「経済の自律的成長」「包括的な社会の構築」「ディーセントワーク」の実現、②「底上げ・底支え」「格差是正」で「クラシノソコアゲ実現」を、③働く者・国民生活の底上げを図るために果敢に闘おう！とし、取り組み内容などについて過去のデータや直近のデータを活用しながら、「働き方改革」の状況や長時間労働の是正に向けた取り組みなど、現在の課題や連合の取り組みを含めてご講演いただいた。

○ 提起：「連合秋田2017春季生活闘争について」、産別からの状況報告・決意表明

連合秋田の藤井事務局長から「連合秋田2017春季生活闘争について」の提起を行った後、情報労連秋田県協議会・秋木製鋼労組の牧野書記長、サービス連合・鶴ヶ池荘労働組合の高橋委員長より、今次闘争に臨んでの状況報告と力強い決意表明をいただいた。



連合秋田
藤井 真悟 事務局長



情報労連秋田県協議会 秋木製鋼労働組合
牧野 友和 書記長



サービス連合 鶴ヶ池荘労働組合
高橋 一 執行委員長

○ 労福事業団体からキャンペーン等報告、団結ガンバロー

東北労働金庫秋田県本部の東海林本部長、小松副本部長、全労済秋田県本部の石井専務執行役員、秋本職員より、現在展開しているキャンペーンのご案内と今春季生活闘争に対する激励をいただき、最後に連合秋田・黒崎 保樹会長の「団結ガンバロー」で勝利に向け取り組むことを確認した。



東北労働金庫秋田県本部
東海林 悟 本部長



全労済秋田県本部
石井 純一 専務執行役員



団結ガンバロー

連携・交流・情報共有！



○ 連合秋田 第1のヤマ場を確認！

・3月25日(土)～3月31日(金)

○ 連合秋田春季生活闘争全県統一行動

・第2次統一行動日 3月27日(月)～3月31日(金)